

Information

平成25年度コミュニティ助成事業 宝くじの助成金でアルミステージ購入



財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業の助成を受け、愛治公民館にアルミステージを整備しました。

この事業は、宝くじの社会貢献広報事業として、自治総合センターが宝くじの収益を財源としてコミュニティ活動に助成し、コミュニティの健全な発展を図っているものです。

今回購入したアルミステージは、今後さまざまな住民のコミュニティ活動に幅広く利用されます。

Topics

お互いに協力し合い、災害に備える



◀ 固い握手を交わす2人

12月18日、役場3階・委員会室で「災害時における物資供給協力に関する協定書」調印式が行われました。

この協定は、災害時等に生活物資の安定供給を行うことにより、町民生活の早期安定を図ることを目的に、生活協同組合コープえひめと鬼北町の間で締結されたもので、生活協同組合コープえひめの松本等理事長は「災害時に、町民の皆さんのお役に立てる体制を整えることができ、大変嬉しく思っている」と話し、この協定の重要性を嘯みしめていました。

Topics

「鬼北産」が詰まった贅沢な味わい

12月8、15日の2日間にわたって、道の駅・三角ぼうしで、「鬼級グルメ」が開催されました。

この日は、そば処「ほそ川」の協力のもと、愛治産のそば粉を使った手打ちそばで、来場者をおもてなし。1日目には、鬼北町の特産であるきじを使った、きじご飯付きの「きじセイロそばセット」、2日目にはその他にもざるそばなど3種類のメニューが用意され、その香り豊かなそばの味わいが、訪れた人たちの舌を楽しませていました。



1「鬼北産」の美味しさに舌鼓を打つ来場者 2用意されたメニューの1つ「きじセイロそばセット」

Topics

お正月の風物詩、手作りのかどまつで帰省者らをお出迎え

12月21日と22日、日吉盆栽会と愛治活性化集団「来夢」がそれぞれお正月の風物詩であるかどまつ作りを行いました。

毎年恒例となっているこのかどまつ作り。会員らは、かどまつ「顔」にこだわり、微調整を繰り返しながら一つ一つの作業を丁寧に仕上げていきました。

完成したかどまつはそれぞれ、道の駅・日吉夢産地、日吉支所、清水地区、大宿地区などに飾られ、年末年始に帰省した人たちを温かく出迎えました。



1かどまつ先の形にまでこだわり整える愛治活性化集団来夢の会員ら 2「顔」にこだわり、微調整をする日吉盆栽会会員ら